

## II 令和5年度鹿児島県総合体育センター事業等

- 1 スポーツ・レクリエーション活動の支援
  - (1) 普及・奨励
    - ア 普及・奨励事業の充実及びモデル事業の実施
      - (ア) スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」
        - a 春「ふれあいプラザ」

<b>目 的</b>	(1) 「こどもの日」にちなみ、幼児、児童生徒やその家族などにスポーツ活動の場として県総合体育センターの各運動施設を開放し、スポーツ・レクリエーション活動、ニュースポーツ等の体験や交流を行える場を提供することにより、県民のスポーツ活動及び健康づくりへの参加促進に努めるとともに、「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進に役立てる。 (2) スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、市町村等で開催されるイベント等のモデル事業として実施する。		
<b>期日・会場</b>	令和5年4月29日(土) 県総合体育センター各運動施設	<b>参加者数</b>	2,592人
<b>対 象</b>	幼児、児童生徒とその家族など		
<b>成 果</b>	鴨池公園園路をメイン会場としてニュースポーツをはじめ、各種交歓大会を実施することにより、県民へのスポーツ・レクリエーション活動の普及・振興につなげることができた。		
<b>令和6年度の予定</b>	令和6年4月27日(土) 県総合体育センター各運動施設		

### 《 内 容 》

#### 1 プレイイベント

4月19日(水)に白波スタジアムで、学校法人丸岡学園やはた幼稚園年長組に、こいのぼりの掲揚やNPO法人SCCによるかけっこ教室に参加していただきました。



【園児からのこいのぼり贈呈】



【かけっこ教室】

#### 2 当日の様子



【カヌー体験】



【フライングディスク体験】



【ニュースポーツ体験：バグジー】



【フェンシング体験】



【中学生弓道交歓大会】



【中学生軟式野球交歓大会】

b 秋「スポーツプラザ」

<b>目 的</b>	(1) 「スポーツの日」にちなみ、スポーツ活動の場として県総合体育センター各運動施設を開放し、スポーツ・レクリエーション活動、ニュースポーツ等の体験や交流を行える場を提供することにより、県民のスポーツ活動及び健康づくりへの参加促進に努めるとともに、「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進に役立てる。 (2) スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、市町村等で開催されるイベント等のモデル事業として実施する。
<b>期日・会場</b>	国体開催のため休止
<b>対 象</b>	幼児から高齢者までどなたでも
<b>令和6年度の予定</b>	令和6年10月26日（土） 県総合体育センター各運動施設

c 元旦「太陽とともに走ろう」

<b>目 的</b>	初日のもと、走り初めの機会を提供することで、新年における健康づくりや運動実践への意欲を喚起し、県民がスポーツ・レクリエーション活動に親しむことを目指した「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進を図る。		
<b>期日・会場</b>	令和6年1月1日（月） 白波スタジアム（県立鴨池陸上競技場）	<b>参加者数</b>	2,506人
<b>対 象</b>	幼児から高齢者までどなたでも		
<b>成 果</b>	4年ぶりにアトラクション団体の実演等がある賑やかな元旦らしい雰囲気の中、多数の県民の参加により、新年における健康づくりや運動実践への意欲を喚起することができた。		
<b>令和6年度の予定</b>	令和7年1月1日（水） 白波スタジアム（県立鴨池陸上競技場）		

《 内 容 》

1 開会行事

当日は、地頭所教育長の号砲により参加者は一斉にスタートしました。



【開会のあいさつ】



【開会行事の様子】



【スタート合図】



【スタートの様子】

2 参加者の様子

当日は、4年ぶりに各アトラクション団体による太鼓の演奏や凧揚げ実演、自頭流の演武を行っていただいたり、昨年開催された、燃ゆる感動かごしま国体のダイジェスト動画を大型ビジョンで放映するなど、参加者の走り初めを盛り上げました。



【ジョギング・ウォーキング】



【自頭流の演武】



【会場から見た初日】

(イ) 暑中げいこ・寒げいこ

<b>目 的</b>	柔道、剣道及び弓道における礼法，基本動作及び練習法等を身に付けさせるとともに，暑さ・寒さに負けない強い意志と身体の育成を図る。あわせて，競技力の向上と生涯スポーツの推進に役立てる。																	
<b>期日・会場</b>	○ 暑中げいこ (弓道) 令和5年8月3日(木)・4日(金) 県総合体育センター武道館 (柔道) 令和5年8月22日(火)・23日(水) 県総合体育センター武道館 (剣道) 令和5年8月22日(火)・23日(水) 県総合体育センター体育館	参加人数 (延べ人数)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>参加校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柔道</td> <td>101人</td> <td>9校</td> </tr> <tr> <td>剣道</td> <td>251人</td> <td>20校</td> </tr> <tr> <td>弓道</td> <td>196人</td> <td>21校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>548人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		人数	参加校	柔道	101人	9校	剣道	251人	20校	弓道	196人	21校	合計	548人	—
			人数	参加校														
柔道	101人	9校																
剣道	251人	20校																
弓道	196人	21校																
合計	548人	—																
○ 寒げいこ (弓道・柔道) 令和5年12月25日(月)・26日(火) 県総合体育センター武道館 (剣道) 令和5年12月25日(月)・26日(火) 県総合体育センター体育館	参加人数 (延べ人数)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>参加校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柔道</td> <td>132人</td> <td>12校</td> </tr> <tr> <td>剣道</td> <td>191人</td> <td>20校</td> </tr> <tr> <td>弓道</td> <td>184人</td> <td>18校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>507人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		人数	参加校	柔道	132人	12校	剣道	191人	20校	弓道	184人	18校	合計	507人	—	
		人数	参加校															
柔道	132人	12校																
剣道	191人	20校																
弓道	184人	18校																
合計	507人	—																
<b>対 象</b>	○ 暑中げいこ 弓道：中学2年生，柔道・剣道：中学1・2年生 ○ 寒げいこ 弓道：中学1年生，柔道・剣道：中学1・2年生																	
<b>成 果</b>	参加者の安全を第一に考え，一人当たりの練習時間が確保できるように各競技連盟と連携しながら計画から運営まで実施することができた。また，各競技団体から推薦された指導者による専門的な指導により，充実した稽古ができた。																	
<b>令和6年度の予定</b>	○ 暑中げいこ (弓道) 令和6年8月5日(月)・6日(火) 県総合体育センター武道館 (柔道・剣道) 令和6年8月19日(月)・20日(水) 県総合体育センター武道館・体育館 ○ 寒げいこ (柔道・剣道・弓道) 令和6年12月25日(水)・26日(木) 県総合体育センター武道館・体育館																	

《 内 容 》

※ 吹き出しは，参加者の感想

暑中げいこ



【柔道：基本動作】



【剣道：基本打突】



【弓道：一手行射】

いつものない素振りの本数でとてもきつくて自分に負けそうな時もあったけど，先生方が「頑張れ！」と応援してくださったおかげで頑張れました。充実した2日間になりました。

寒げいこ



【柔道：実技指導】



【剣道：基本実技】



【弓道：巻藁稽古】

2日間で学んだことを学校や強化練習などで繰り返し練習・実践し，大きな目標に向けて一日一日を考えながら柔道をしていきたいです。

(ウ) 地方青少年武道錬成大会

<b>目 的</b>	武道に対する正しい理解を深めさせるとともに、実技を通して心身の錬磨、技能の向上及び相互の親睦を図り、心身ともに活力に満ちた健全な青少年の育成に役立つ。			
<b>期日・会場</b>	○ 剣 道	令和5年6月17日(土)・18日(日) 薩摩川内市総合運動公園体育館武道場 (薩摩川内市)	<b>参加者数</b>	74人
	○ なぎなた	令和5年12月16日(土)・17日(日) 県総合体育センター武道館 (鹿児島市)		30人
<b>対 象</b>	武道を志す小・中・高校生			
<b>成 果</b>	関係武道競技団体及び開催市との連携を十分に図り、中央講師、地元講師の指導のもと、充実した錬成大会が行えた。			
<b>令和6年度の予定</b>	○ 剣 道	令和6年6月1日(土)・2日(日) 霧島市国分体育館 (霧島市)		
	○ なぎなた	令和6年7月6日(土)・7日(日) 南九州市知覧体育館・武道館 (南九州市)		
	○ 柔 道	令和6年11月16日(土)・17日(日) 肝付町武道館 (肝付町)		

《 内 容 》

公益財団法人日本武道館から派遣された中央講師2人と本県各武道競技団体から派遣された地元講師1～2人が、2日間の錬成大会の指導を行いました。

※ 吹き出しは、参加者の感想

1 剣道錬成大会

中央講師：大城戸 功 範士八段  
寺地 種寿 範士八段  
地元講師：大山 健 教士七段



【講 話】  
「有効打突の要件と要素について」



【実技指導】

講話で有効打突について学びました。有効打突の条件は、「充実した姿勢」「適切な姿勢」をもって、「竹刀の打突部で打突部位」を「刃筋正しく打突」し「残心あるもの」ということが分かりました。試合や練習でもこれを意識したいです。

先生方から一つ一つ丁寧に教えていただき、自分の課題を見付けることができました。今後に生かしていきます。

2 なぎなた錬成大会

中央講師：中村 ゆり子 範士、笠原 松美 教士  
地元講師：新坂 知可子 五段、畠中 良枝 四段



【中村先生 実技指導】



【笠原先生 実技指導】



【基本動作】



【対人技能】

2日間で武道の素晴らしさ、かっこよさを改めて感じ、心も体も成長することができ、また、たくさんの人と練習できて楽しかったです。

日々の生活でも礼法を大切に、規則正しい生活ができるように努力しようと思います。

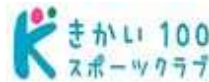
イ 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室

<b>目 的</b>	運動をする機会が少ない女性を対象にしたスポーツ・レクリエーション教室を総合型地域スポーツクラブを核として実施し、健康づくりや仲間づくりを通して運動に親しむ機会を充実させ、継続したスポーツ活動を推進する。		
<b>期 日・会 場</b>	期日：令和5年10月11日（水）25日（水） 11月8日（水）29日（水） 12月13日（水） 令和6年1月17日（水） 会場：喜界町体育館	<b>参加者数 (延べ人数)</b>	111人
<b>対 象</b>	女性		
<b>成 果</b>	気軽に参加できる運動プログラムを構成したことにより、参加者からも好評であった。主管クラブも自クラブの充実、発展のために町役場の回覧等を活用して広報するなど、意欲的に取り組み、運動に親しむ機会を多くの方に提供できた。		
<b>令和6年度 の 予 定</b>	実施予定（詳細は後日決定）		

《 内 容 》

1 主管・実施クラブ

きかい100スポーツクラブ（喜界町）



2 指導者

乾 華子



3 内容

かんたんヨガ体験教室

4 運営者の感想

毎回初参加の方がいて徐々に教室の輪が広がっていきました。16～20人程の参加者で、20代から80代の方までそれぞれのペースやポーズで楽しんでいました。「女性のための」と冠をつけたことで参加することへのハードルが下がったように感じ、指導者も女性のからだについてかなり突っ込んだ内容で、「攻め」のトークがなされていたのが印象深かったです。

5 参加者の感想

- ・ 心身ともにリフレッシュできました。
- ・ からだの痛いところなくなりました。
- ・ 運動は得意ではないが、かんたんヨガ体験というネーミングだったのでやってみようと思えました。
- ・ あらかじめ開催日を周知していただいたので、予定が組みやすかったです。
- ・ 毎月の申込みだったので友達を誘いやすかったです。

※ 吹き出しは、参加者の感想



【呼吸法】



【かんたんヨガ体験】

## ウ わくわくスポーツ・レクリエーション教室

<b>目 的</b>	障害のある・なしに関わらず、誰もが楽しく活動できるスポーツ・レクリエーション教室を、総合型地域スポーツクラブを核として実施し、健康づくりや仲間づくりを図ることで、運動に親しむ機会を充実させ、継続したスポーツ活動を推進する。		
<b>期 日・会 場</b>	期日：令和5年11月11日（土） 令和6年1月14日（日）27日（土） 全3回 会場：奄美体験交流館	<b>参加者数 (延べ人数)</b>	18人
<b>対 象</b>	放課後等デイサービスの利用者，特別支援学級に通う児童生徒等		
<b>成 果</b>	参加者の人数や実態に合わせた運動プログラムを構成し実施したことで、楽しく運動に親しむ機会を提供することができた。主管クラブも今回の事業で得た障害者スポーツの指導者との連携等を今後の活動に生かしたいと意欲を高めることができた。		
<b>令和6年度 の 予 定</b>	実施予定（詳細は後日決定）		

## 《 内 容 》

### 1 主管・実施クラブ

健康ど宝コミュニティクラブ

※ 吹き出しは、参加者の感想

### 2 指導者

健康ど宝コミュニティクラブのスタッフ

住用ハイキング：NPO法人すみようヤムラランド代表者 満田 英和

島唄・三味線教室：里 朋樹



### 3 内容

住用ハイキング，ヨガ体験，ニュースポーツ体験，島唄・三味線教室，モルック大会

### 4 運営者の感想

- ・ 児童の「これやりたい」を優先して臨機応変に対応できました。
- ・ 興味がすぐに変わり、じっとして話を聞くことが苦手なので、声掛けや進行に少し戸惑う場面がありましたが、親子での仲睦まじい様子を見ることができ、実施してよかったと思いました。

### 5 参加者の感想

保護者も楽しめるような遊び道具があって、みんなで楽しく活動できました。



【ニュースポーツ体験】

三味線は普段なかなか触れられなかったので、貴重な体験でした。難しかったけど楽しかったです。



【島唄・三味線教室】

自然がいっぱいで楽しかったです。ヤギを見たり、カニを捕まえるのが楽しかったです。



【住用ハイキング】

エ スポーツ・レクリエーション活動への支援

(7) スポーツ・レクリエーション体験教室「体育センターがやってきた！」

<p><b>目 的</b></p>	<p>総合体育センター職員が直接県内の小学校及び義務教育学校（前期課程）、特別支援学校を訪問し、スポーツ・レクリエーション活動を通して、学校に「スポーツに親しむことの楽しさ」を提供するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る。</p>		
<p><b>期日・会場・対象学年</b></p>	<p>① 令和5年7月5日(水) 始良市立西始良小学校 6年                  ② " 7月11日(火) 霧島市立青葉小学校 6年                  ③ " 7月14日(金) 鹿児島市宇宿小学校 5年                  ④ " 9月12日(火) 鹿児島立星ヶ峯東小学校 6年                  ⑤ " 9月15日(金) 曾於市立柳迫小学校 全学年                  ⑥ " 9月19日(火) 霧島市立向花小学校 6年                  ⑦ " 9月22日(金) 南さつま市立長屋小学校 3～6年                  ⑧ " 9月26日(火) 肝付町立国見小学校 4～6年                  ⑨ " 10月5日(木) 鹿屋市立南小学校 全学年                  ⑩ " 10月31日(火) 鹿屋市立祓川小学校 全学年                  ⑪ " 11月2日(木) 阿久根市立脇本小学校 5・6年                  ⑫ " 11月6日(月) 日置市立伊作田小学校 3～6年                  ⑬ " 11月11日(土) 長島町立平尾小学校 5・6年                  ⑭ " 11月14日(火) 曾於市立光神小学校 1～5年                  ⑮ " 11月30日(木) 阿久根市立阿久根小学校 6年                  ⑯ " 12月5日(火) 鹿屋市立細山田小学校 3年                  ⑰ " 12月9日(土) 曾於市立月野小学校 全学年                  ⑱ " 12月15日(金) 霧島市立平山小学校 2～6年                  ⑲ 令和6年1月12日(金) 薩摩川内市立育英小学校 6年                  ⑳ " 1月13日(土) いちき串木野市立旭小学校 全学年                  ㉑ " 1月23日(火) 志布志市立志布志小学校 2年                  ㉒ " 1月24日(水) 肝付町立岸良学園 1・2・5・6年                  ㉓ " 1月30日(火) 日置市立湯田小学校 6年                  ㉔ " 2月7日(水) 霧島市立霧島小学校 全学年                  ㉕ " 2月14日(水) 志布志市立有明小学校 5・6年                  ㉖ " 2月15日(木) いちき串木野市立川上小学校 全学年                  ㉗ " 2月16日(金) 鹿屋市立野里小学校 3年                  ㉘ " 2月20日(火) 鹿屋市立上小原小学校 4年</p>	<p><b>参加者数</b> 1,144人</p>	
<p><b>成 果</b></p>	<p>体育の授業では行わないニュースポーツを中心に体験させることで、運動が苦手な子供や運動に意欲的でない子供が楽しく活動する機会を提供できた。</p>		
<p><b>令和6年度 の 予 定</b></p>	<p>実施校は、事前申込みにより本センターが選定する。（7月～2月実施予定）</p>		

《 内 容 》

1 活動内容 (90分)

- (1) 開会行事  
(職員紹介・ルール説明等)
- (2) 準備運動
- (3) ニュースポーツや障害者スポーツ等の体験
- (4) 閉会行事  
(整理運動や児童の感想等)



【準備運動】



【スカットボール】



【バグジー】



【スカイクロス】



【ボッチャ】



【キャッチング・ザ・スティック】

※吹き出しは、参加者の感想

- ・ あまりスポーツが得意ではなく好きではなかったのですが、少し好きになりました。
- ・ 難しいけど工夫して成功したときの達成感を感じることができました。
- ・ ルールも簡単で、子どもから大人まで楽しめるスポーツもいいなと思いました。

(4) スポーツ・レクリエーション用具の貸出し

<b>目 的</b>	生涯スポーツの推進のため、県民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるように、各種団体等にスポーツ・レクリエーション用具の貸出しを行う。
<b>対 象</b>	公益性のある団体・事業

**《 内 容 》**

**1 貸出・返却の流れ**

- (1) 貸出用具については、県総合体育センターのホームページに掲載されている「スポーツ・レクリエーション貸出用具一覧表」を参照する。  
※事前に県総合体育センター指導課振興係に電話(099-255-0146)で問い合わせる。
- (2) 県総合体育センター(県武道館2階事務所)で所定の手続きを行う。※印鑑が必要
- (3) 借用期間は、原則2週間以内。
- (4) 期限までに、借用物品の形状及び数量を確認して返却する。

URL <http://www.pref.kagoshima.jp/bc10/kikan/taiku/kashidashi/r4supo-turekurie-syon.html>

**2 貸出用具とゲームの行い方 (貸出件数の多い順)**

**第1位【スカットボール】**

ゲートボールと同様のスティックを使って、的となる台の穴にボールを入れるスポーツです。ボールをスタートラインからスティックで打って、高得点を狙いますが、穴の特殊なカーブがハラハラドキドキのゲームを演出します。



**第2位【ボッチャ】**

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。



**第3位【わなげ9&Q】**

輪は片手であればどんな持ち方をしてもかまいません。シングルスは連続して9本を投輪します。ダブルスの場合、同じチームの2人が交互に投げるルールです。的棒に記入してある数字が得点になり、投げ輪を9個全部投げ終わったときに、棒に入っている輪の点数の合計が得点になります。広い場所を必要とせずどこでも楽しめる上ルールも簡単です。作戦を立てながら行えば、奥深い楽しみがあり、子供から高齢者まで、気軽に楽しむことができます。



**第4位【バグジー】**

2つのボードを向かい合わせに置き、2チームに分かれてビーンバッグを投げて得点を競います。ボードに乗ると1点、穴に入ると3点、ボードに乗ったバッグに当てて両方穴に入ると6点。激しい動きがなくルールも簡単な上、アウトドア、インドアどちらでも楽しめます。



**第5位【ディスクゲッター】**

9枚のパネルセットのターゲットを使ってスコアゲームをします。子供から大人までが夢中になれるターゲットゲームです。1人で投げて何枚抜けるか、2人で投げていき、どちらが多くパネルを抜けるかなど、遊び方はその場で作れます。



**3 おすすめニュースポーツ**

**【キャッチング・ザ・スティック】**

10人が横一列に並び、向かって右から8人がスティック(2本)を持ち、左側の2人が待機します。かけ声に合わせて、スティックを床に「トントン」と2回突き、「パツ」で右隣の人の2本のスティックを移動してキャッチするゲームです。全員が成功したら1カウントで、何回続けられるかにチャレンジします。





(2) 指導者の養成と資質向上

ア スポーツ・レクリエーション活動実技指導者研修会

<b>目 的</b>	スポーツ・レクリエーション活動に関する指導法についての講義・実技を通して、指導者としての資質を高める。		
<b>期 日・会 場</b>	令和5年11月10日（金） 県総合体育センター体育館	<b>参加者数</b>	20人
<b>対 象</b>	スポーツ・レクリエーション活動の指導者等 （総合型地域スポーツクラブ指導者，スポーツ少年団指導者，スポーツ推進委員，教職員等）		
<b>成 果</b>	大学教授等の講師による講義と実技，演習を通して，参加者はスポーツ・レクリエーション活動指導者として必要な知識や技能を高めることができた。		
<b>令和6年度の予定</b>	令和6年11月7日（木） 県総合体育センター体育館		

《 内 容 》

研修会の様子

※ 吹き出しは、参加者の感想



【児童生徒及び成人の  
体力の現状と課題】

日本体育大学スポーツ文化学部  
岡出美則 教授



実技1

【バルシューレ】

日本体育大学スポーツ文化学部  
岡出美則 教授

- ・ 一つの動きでもいろいろな遊びの展開があり、飽きがなく、もっとこうしていきたいとアイデアが次々出てきました。これからの教室でも工夫し、生かしていけたらと思います。
- ・ 子供たちの成長に合った運動や教え方などを学び、今の自分の教え方で合っているのか考えさせられました。学んだことを少しずつ実践しようと思います。
- ・ 遊びプログラムを子供たちのために考え、プログラムにのっとって指導するというのはとても難しかったです。他のグループの考えはとても参考になりました。



講義・実技2

【アクティブ・チャイルド・プログラム】

鹿児島県レクリエーション協会  
今村和己 副会長



演習

【運動プログラム作り】

## イ 公認アシスタントマネジャー養成講習会

<b>目 的</b>	総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員や県民が充実した健康・体力づくりや地域づくりができるようにクラブマネジャーを補佐するとともに、クラブマネジメントの諸活動をサポートすることができる公認アシスタントマネジャーの資格取得を目指す人材を養成する。		
<b>期日・会場</b>	令和5年8月5日（土）・8月6日（日） 県体協会館会議室	<b>参加者数</b>	10人
<b>対 象</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 18歳以上（令和5年4月1日現在）の次に該当する者</li> <li>○ 市町村教育委員会及び関係市社会体育担当者、スポーツ推進委員、社会体育有志指導者、教職員、総合型地域スポーツクラブで活動している者又は活動を希望する者</li> </ul>		
<b>成 果</b>	講習会を通して、参加者がクラブマネジメントの諸活動をサポートすることができる知識を身に付けることができた。		
<b>令和6年度の予定</b>	【隔年開催のため、次回の実施は令和7年度（期日等は未定）】		

## 《 内 容 》

### 1 講 義

- 基礎1-1 「地域スポーツクラブを取り巻く環境と地域スポーツクラブの必要性」  
鹿屋体育大学 教授 中垣内 真樹
- 基礎1-2 「クラブマネジャーの果たすべき仕事と役割、求められる能力」  
NPO法人SCC ゼネラルマネジャー 竹内 良人
- 基礎2-1 「地域クラブの設立と運営の概要」  
一般社団法人LOCO. NET-S & C 代表理事 兼  
NPO法人始良スポーツクラブ クラブマネジャー  
日高 紀孝
- 基礎2-2 「ケーススタディー」  
設立準備から自主運営まででの実際
- 基礎2-3 「グループワーク」  
クラブ設立、運営の事業計画書作成  
(公財) 鹿児島県スポーツ協会  
クラブアドバイザー 永田 智和

※ 吹き出しは、参加者の感想



【基礎1-1】



【基礎1-2】



【基礎2-1】



【基礎2-2・3】

### 2 参加者の感想

- ・ 今回の講習を通してアシスタントマネジャーへの理解を深めることができよかったです。クラブの運営には、少年団や学校の運営ともつながる部分があることが分かりました。
- ・ グループワークがあり、いろいろな人の話を聞く機会が多く、今後の視野が広がりました。
- ・ スポーツクラブの運営を行うにあたっての基本的な知識から運営の仕方などとても勉強になり、今後、スポーツクラブ運営を強化していこうと思いました。

ウ 柔道指導者講習会

<b>目 的</b>	県内の中学校・高等学校における教科体育の充実に向けた教員の資質向上を図るとともに、部活動及びスポーツ少年団等の柔道指導者の指導力を高め、本県柔道競技の競技力向上を図る。		
<b>期日・会場</b>	令和5年5月18日(木)・19日(金) 県総合体育センター武道館	<b>参加者数</b>	156人
<b>対 象</b>	県内の中学校・高等学校保健体育担当教員、柔道部活動指導者及びスポーツ少年団等の柔道指導者		
<b>成 果</b>	講道館の講師等による講義や実技を通して、参加者に柔道指導者として必要な知識や技能を身に付け、指導力を高めることができた。		
<b>令和6年度の予定</b>	令和6年5月16日(木)・17日(金) 県総合体育センター武道館		

《 内 容 》

講習会の様子

※ 吹き出しは、参加者の感想



【開会のあいさつ】  
北哲郎 会長  
(公益財団法人鹿児島県柔道会)



【講義Ⅰ「講道館柔道の基礎」】  
鮫島元成 参事  
(公益財団法人講道館)



【実技ⅠⅡ「講話・審判法」】  
西田孝宏 副会長  
(公益財団法人全日本柔道連盟)



【講義Ⅱ「登録関係」】  
熊井康浩 六段



【講義Ⅲ「安全指導」】  
中尾小都枝 五段



【実技Ⅲ「投の形」】  
西有生央 六段  
山野 修 五段



【実技Ⅳ「固の形」】  
鮫島将太郎 五段  
豎山 剛 五段



【講義Ⅳ「指導者資格」】  
中村勇 六段

安全面の配慮はもちろん、柔道の作法・礼法の心得の部分と中学生段階での技の習得を目指し、心技体が充実する楽しい授業づくりを目指したいと感じました。

他の競技と同じように指導者講習会を通して、常に新しい情報と競技力、指導力の向上を目指していくことが必要だと感じました。

エ 地域社会武道指導者研修会

<b>目 的</b>	中・高等学校及び地域における武道指導者の技能の向上を図るとともに、指導力を高め、本県の武道競技の普及振興と競技力の向上に役立てる。		
<b>期日・会場</b>	○ 弓 道 令和5年11月4日(土)・5日(日) 西原商会アリーナ弓道場 (鹿児島市)	<b>参加者数</b>	59人
<b>対 象</b>	中・高等学校及び地域の指導者等		
<b>成 果</b>	県弓道連盟及び開催市(鹿児島市)と連携を図り、中央講師、地元講師の指導により、参加者の指導力向上を図ることができた。		
<b>令和6年度の予定</b>	○ 少林寺拳法 令和6年9月7日(土)・8日(日) 県総合体育センター武道館剣道場(鹿児島市)		

《 内 容 》

※ 吹き出しは、参加者の感想  
 公益財団法人日本武道館から派遣された中央講師2人と本県弓道連盟から派遣された地元講師2人が、2日間の指導者研修会の指導を行いました。

中央講師：近藤 峯英 範士八段 安倍 智 教士八段  
 地元講師：釜口 昭壽 教士七段 濱田 藏人 教士七段



【近藤先生 実技指導】 【安倍先生 実技指導】



先生方の熱意溢れる御指導で受講生たちの熱量も向上しました。先生方の励ましを糧として安易な射や体配に寄りがちである自己を律して、少しでも良い射をすることができるよう努力していきたいと決心しました。



【釜口先生 実技指導】



【濱田先生 実技指導】

日頃指導する場合「こう直してあげたい」と思っても表現の仕方が稚拙で伝わらないことも多々ありますが、今回の研修会で体の使い方であったり筋肉の使い方の方を「そういった表現の仕方もあるのか」と目から鱗が落ちることがたくさんありました。



【近藤先生 講話】



【講師射礼】

本研修会に参加して改めて基礎・基本の大切さを実感しました。今回の研修会で先生方から学んだことを今後しっかりと練習に生かし、理想である真善美を体現できる射の追求をしていきたいと考えます。



【一手行射】



【一ツ的射礼】

充実したカリキュラムでした。普段、中央の範士の指導を受けられる機会が少ないので、大変参考になりました。自己練習、中学生への指導それぞれがマンネリ化していましたが、このような特別な時間は、それを再考させるよい機会となり、同様の感想をもつ人々との交流もできて、お互いの考え方にも触れることができました。

## オ アウトドア活動指導者育成講習会

<b>目 的</b>	アウトドア活動に対する総合的な知識をもった地域指導者の養成を図るとともに、県民の生涯スポーツ推進の一環として、アウトドア活動の普及・振興を図り、「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進を図る。		
<b>期 日・会 場</b>	令和5年6月17日（土） 令和5年7月8日（土）・9日（日） 県立青少年研修センター	<b>参加者数</b>	45人
<b>対 象</b>	教職員，公認スポーツ指導者，社会体育有志指導者，市町村教育委員会職員，青少年教育施設等職員，青少年団体等指導者，スポーツクラブ指導者及び関係者，アウトドア活動に興味のある満18歳以上の者，キャンプインストラクター資格を希望する満18歳以上の者等		
<b>成 果</b>	アウトドア活動に必要な知識や技術を講義や実習を通して，身に付けることができた。また，参加者のうち29人がキャンプインストラクターの資格を取得した。		
<b>令和6年度の予定</b>	令和6年6月15日（土） 令和6年7月6日（土）・7日（日） 霧島自然ふれあいセンター		

### 《 内 容 》

※ 吹き出しは，参加者の感想

#### 1 講義

県キャンプ協会の（公社）日本キャンプ協会公認キャンプディレクター1級指導者を講師として，キャンプに関する基本的な知識や野外ゲームのプランニングについて学びました。



【講義】

#### 2 実技

アイスブレイク，食材獲得ゲーム，野外炊事，屋台制作，料理コンテスト等の活動を体験しました。



【アイスブレイク】



【食材獲得ゲーム】



【野外炊事の基礎】



【料理コンテスト】



【ゲームプランニング】



【野外炊事】



【屋台制作】



【全体写真】

- ・ 初対面の方ばかり，ドキドキがとまらなかった開始までの時間でしたが，たくさんの楽しいアイスブレイクであつという間に緊張もほぐれ，講義だけでなくほとんど実践の中で学んでいける今回の講習会に，大満足です。

#### 3 研究協議

これからのアウトドア活動指導者に必要な資質や求められる能力について研究協議を行いました。

- ・ 実際に活動を通して体験した後，振り返りにてプログラムの構成や企画作成の経過を学びました。参加者側として体感することで，組織キャンプの運営に必要な視点や技術について理解しやすかったです。
- ・ アウトドアを楽しんで，人間的にも成長できる機会を得られる場を提供できるようになりたいと思いました。



【研究討議】

(3) 総合型地域スポーツクラブの充実

ア 活動状況調査

(7) 設立支援状況調査

<b>目 的</b>	総合型地域スポーツクラブの設立準備状況について確認し、今後の方向性について意見交換を行う。また、各市町村における生涯スポーツの取組について、情報交換を行う。
<b>対 象</b>	現在設立準備中となっている市町村の関係団体(教育委員会や設立母体等)
<b>成 果</b>	設立を希望している団体関係者と面談し、設立準備状況や設立に向けた具体的な取組について確認し、今後の方向性について意見交換を行うことができた。
<b>令和6年度の予定</b>	関係市町村の団体(教育委員会や設立母体等)と早めに日程調整を行い、計画的に調査を実施する。

※ 調査実績

期 日	団 体	場 所
令和6年1月18日(木)	錦江町教育委員会	錦江町
	大崎町教育委員会	大崎町
1月24日(水)	徳之島町教育委員会	徳之島町
	伊仙町教育委員会	伊仙町
	天城町教育委員会	天城町
1月29日(月)	伊佐市教育委員会	伊佐市

(4) 運営状況調査

<b>目 的</b>	総合型地域スポーツクラブの運営状況を把握し、地域における生涯スポーツの推進について、情報交換を行う。
<b>対 象</b>	これまでの運営状況調査の実施状況や広域スポーツセンター研修会への出席状況などを踏まえ、状況調査が必要と判断されるクラブ。
<b>成 果</b>	状況調査が必要と判断した団体関係者と面談し、運営状況についての課題等について確認し、今後の対策等について意見交換を行うことができた。
<b>令和6年度の予定</b>	調査を実施するクラブについて、関係市町村及び総合型地域スポーツクラブと日程調整を行い、実施する。

※ 調査実績

期 日	団 体	場 所
令和6年1月26日(金)	肝付町教育委員会 きもつきスポーツクラブ	肝付町
	曾於市教育委員会 NPO法人コミュニティスポーツ倶楽部そお文化村	曾於市

イ 情報提供・相談

<b>情報提供</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国や県の総合型地域スポーツクラブに関する情報の提供を行った。</li> <li>○ 広域スポーツセンター研修会の内容について、県総合体育センターのホームページに掲載した。</li> </ul>
<b>相談内容</b>	総合型地域スポーツクラブの設立に関する相談や補助金の手続きに関する相談、県民からのスポーツ・レクリエーション活動に関する環境や指導者等に関する問合せに対応した。

※ 詳細は、県総合体育センターホームページを参照  
目的別情報>広域スポーツセンター

[www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html](http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html)



【ホームページ】

ウ 広域スポーツセンター研修会

<b>目 的</b>	(1) 地域スポーツ振興のために、各市町村の生涯スポーツ担当者や総合型地域スポーツクラブ関係者が一堂に会し、当面する課題や今後の取組などについて認識を深め、課題解決を図る。 (2) 総合型地域スポーツクラブの自立支援のために、スポーツクラブ運営に携わる人材育成を図る。		
<b>期日・会場</b>	○ 第1回 令和5年6月6日(火)：かごしま県民交流センター ○ 第2回 令和6年2月2日(金)：かごしま県民交流センター	<b>参加者数</b>	57人 58人
<b>成 果</b>	第1回では、テーマを「市町村行政と総合型地域スポーツクラブの連携」とし、「認定クラブ制度の手続き」や「休日の部活動の段階的な地域移行」等についての説明、地域課題の解決に向けた演習を実施し、当面する課題や今後の取組などについて認識を深めることができた。 第2回では、テーマを「イベントの企画力向上」とし、講師を招へいし、講義及び演習を通して、今後の取組などについて認識を深め、課題解決を図ることができた。		
<b>令和6年度の予定</b>	○ 第1回 令和6年6月7日(金)：かごしま県民交流センター ○ 第2回 令和7年1月31日(金)：かごしま県民交流センター（予定）		

《 内 容 》

**第1回広域スポーツセンター研修会**

**1 説明**

「認定クラブ制度の手続き」について  
 鹿児島県総合体育センター指導課振興係  
 河野 新二 体育研修主事

**2 説明**

「第2期マイライフ・マイスポーツ運動」  
 鹿児島県教育庁保健体育課 スポーツ振興係  
 神園 章 指導主事

**3 説明**

「学校部活動の地域連携と地域クラブ活動への移行に向けた取組について」  
 鹿児島県教育庁保健体育課 学校体育安全係  
 川原 一祥 指導主事

**4 説明**

「スポーツ安全保険について」  
 (公財)鹿児島県スポーツ協会  
 斎藤 守重 主査

**5 事例報告**

「わくわくスポーツ・レクリエーション教室」  
 NPO法人志布志スポーツクラブ (レインボ-424スポーツクラブ)  
 荘司 幸一 クラブマネジャー



【説明：神園指導主事】



【説明：川原指導主事】

「女性のためのスポーツ・レクリエーション教室」

NPO法人ASA奄美スポーツアカデミー

和泉 和香 クラブマネジャー

## 6 グループ協議

市町村行政と総合型地域スポーツクラブの連携した地域課題の解決に向けたグループ協議

グループ協議1 テーマ「会員の増加に向けた取組について」

グループ協議2 テーマ「クラブと行政の連携について」



【グループ協議】

## 7 参加者の感想

- ・ 他のスポーツクラブの様子を聞くことができよかったです。
- ・ 各クラブの取組や悩みなど、共感できるものが多く、もっと話をしたり、聞いたかったです。あっという間の時間でしたが、多くの情報を得ることができてよかったです。
- ・ 各町の課題を聞いて自分の町でも起こりうる問題として取り組んでいきたいです。
- ・ 行政との連携について考えさせられました。自分たちができることを考えうまく連携できるようにしたいです。

## 第2回広域スポーツセンター研修会

### 1 報告会

「令和5年度幼児期からの運動習慣形成プロジェクト実践報告」  
について

鹿児島県教育庁保健体育課スポーツ振興係 神園 章 指導主事  
国立大学法人鹿屋体育大学 中垣内 真樹 教授



【報告：中垣内教授】

### 2 講義1

「イベントの企画力向上～関係機関との連携～」

株式会社スポーツリンクアンドシェア

川前 真一 代表取締役



【講師：崎山代表】

### 3 講義2

「イベントの企画力向上～広報の工夫～」

グレープコミュニティ

崎山 泰司 代表



【演習】

### 4 演習

講義内容をもとに、参加者が持参した企画書やチラシを自分で再考しました。その後、4・5人のグループで練り合い、今後の企画・運営にいかすように取り組みました。

### 5 参加者の感想

- ・ 今の私の課題意識にマッチしており、大変興味深く研修させていただきました。
- ・ 話が聞きやすく興味もてる講義でとてもよかったです。チラシを作るときに講義の内容をいかしたいです。
- ・ これまで担当者独自の感性でチラシを作成していましたので、的確なアドバイスがもらえて参考になりました。
- ・ 他クラブのチラシ等を参考に協議ができてよかったです。今後の参考にしたいです。



## エ 総合型地域スポーツクラブ育成のための事業

(ア) 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室

※ 詳細については、P 6 「イ 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室」参照

(イ) わくわくスポーツレクリエーション教室

※ 詳細については、P 7 「ウ わくわくスポーツ・レクリエーション教室」参照

## オ 認知度向上推進事業

(ア) 社会体育関係団体等への広報

広域スポーツセンター研修会等を通じて、総合型地域スポーツクラブの説明・広報を行いました。

(イ) 広報誌の発行

広域スポーツセンター事業をホームページに掲載したり、各総合型地域スポーツクラブの事業を広報誌で紹介したりしました。

※ 詳細については、P15 「イ 情報提供・相談」参照

(ウ) スポーツ・レクリエーションフェスティバルでの総合型地域スポーツクラブと連携した取組

総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室を実施しました。協力していただいたクラブ及び内容は次のとおりです。

・ 春「ふれあいプラザ」

○ NPO法人SCC [プレイベント・かけっこ教室]

○ 鹿児島パラアスリートクラブ [障害者スポーツ体験]

(エ) ホームページでの周知

変更のあった総合型地域スポーツクラブの問合せ先や、クラブの設置状況について更新しました。

## カ 鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度

令和3年度から、「第2期スポーツ基本計画（スポーツ庁：平成29年）」で示された「総合型地域スポーツクラブの質的充実」を具現化するため、「鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度」を開始しました。制度導入の目的、期待できることは以下のとおりです。

(ア) 導入の目的

総合型地域スポーツクラブの運営方法や組織体制の改善、強化を図るとともに、県・市町村行政・総合型地域スポーツクラブの三者相互の連携充実を図ることにより、県民の生涯スポーツ振興への寄与を目的とします。

(イ) 期待できること

市町村行政機関等に対し総合型地域スポーツクラブの意義・役割等の認識と信頼度を高めることにより、以下のようなことについても期待がもたれます。

- |  |    |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 市町村行政所有の運動施設使用の減免、優先予約</li><li>・ 市町村行政所有の用具・備品の優先貸出し</li><li>・ 市町村行政主催イベントの運営委託又は指導者派遣</li><li>・ 「地域部活動の運営団体」としての指導者派遣</li><li>・ クラブ主催イベントに対する市町村行政の後援承認</li><li>・ 地域住民への認知度、信頼度の向上</li><li>・ 会員及び指導者の増加</li></ul> | など |
|--|----|

※ 令和5年度は、39クラブを「鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ」として認定しました。

認定クラブには、「認定証」を授与します。今後、本制度及び認定クラブを市町村行政機関だけではなく、県内各学校にも周知し、「住民の、住民による、住民のためのスポーツクラブ」である総合型地域スポーツクラブへの理解、認知度の向上に努めてまいります。

【令和5年度鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ一覧】

地区	市町村名	番号	総合型地域スポーツクラブ名
鹿児島	鹿児島市	1	中郡校区地域スポーツクラブ
		2	谷山南スポーツクラブ
		3	NPO法人SCC
		4	カラフルスポーツクラブ
		5	NPO法人SEED
		6	鹿児島パラアスリートクラブ
		7	一般社団法人ジャパンアスリートクラブ
	日置市	8	コミュニティスポーツクラブ Chest 伊集院
南薩	指宿市	9	NPO法人いぶすきスポーツクラブ
		10	一般社団法人Vスポーツ
	南九州市	11	南九州スポーツクラブ
	南さつま市	12	南さつまコミュニティスポーツクラブ
枕崎市	13	枕崎きばらん海クラブ	
北薩	薩摩川内市	14	NPO法人川内スポーツクラブ01
		15	ひわきYOU遊スポーツクラブ
	阿久根市	16	一般社団法人あくねスポーツプラス
	出水市	17	いずみわくわく夢クラブ
18		NPO法人フェリシドスポーツクラブ	
始良・伊佐	霧島市	19	NPO法人隼人錦江スポーツクラブ
		20	NPO法人きりしま舞鶴スポーツクラブ
		21	NPO法人総合型地域スポーツクラブ霧島
		22	HIMAWARIスポーツクラブ
始良市	23	NPO法人始良スポーツクラブ	
大隅	曾於市	24	NPO法人コミュニティスポーツ倶楽部そお文化村
	志布志市	25	NPO法人志布志スポーツクラブ(レインボー424スポーツクラブ)
	鹿屋市	26	NPO法人かのや健康・スポーツクラブ
		27	NPO法人NIFSスポーツクラブ
	肝付町	28	一般社団法人ホームベース
肝付町	29	きもつきスポーツクラブ	
熊毛	西之表市	30	NPO法人種子島スポーツクラブ
	中種子町	31	中種子よいらーいきスポーツクラブ
	南種子町	32	スポーツクラブ宙太くん
	屋久島町	33	やくしま仲良しコミスポクラブ
大島	奄美市	34	NPO法人ASA奄美スポーツアカデミー
		35	NPO法人健康ど宝(健康ど宝コミュニティクラブ)
	喜界町	36	きかい100(いちまるまる)スポーツクラブ
	和泊町	37	元気!わどまりクラブ
	知名町	38	NPO法人沖永良部スポーツクラブ・ELOVE
与論町	39	NPO法人ヨロンSC	
	合計	39	

#### (4) 調査研究の充実及び情報提供

##### ア 生涯スポーツ振興のための調査

###### (7) 調査目的・ねらい

県民のスポーツ活動等に関する実態やニーズを調査し、状況把握や分析を行い、今後の生涯スポーツの振興施策の基礎資料とする。

###### (イ) 調査項目

- a 運動・スポーツへの関心について(「する」「みる」「ささえる」の観点から)
  - (a) 各年代のスポーツ実施率
  - (b) テレビ・ラジオのスポーツ番組視聴や実際に観戦したスポーツについて
  - (c) スポーツを支えるボランティアの育成について
- b 総合型地域スポーツクラブの認知率及び加入に対する意向について
- c その他(パラスポーツへの関心など)

###### (ウ) 調査期間

令和5年8月から11月

###### (イ) 調査対象

令和4年度「市町村別、男女別人口及び世帯数、人口動態」に基づきサンプルとしての目標数を算出した上で、18歳以上の県民2,688人を対象とした。

調査対象の年齢区分については、「スポーツ振興かごしま基本方針」(平成23年7月策定)に準じて設定した。※ 表内数値は「回答数(目標数)」

区分	青年期	壮年期			高齢者
	18～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
男	330(448)	135(149)	181(149)	146(150)	267(448)
女	335(448)	122(149)	151(149)	123(150)	271(448)
小計	665(896)	257(298)	332(298)	269(300)	538(896)
合計	2,062(2,688) ※ 76.7%				

###### (オ) 調査方法

- a 回答方法  
Webによる調査回答(選択式)
- b 依頼先  
関係市町村教育委員会教育長及び関係市長(社会体育担当主管課扱い)

###### (カ) 調査結果及び考察

鹿児島県総合体育センターホームページ>資料等(発行物・調査結果)に掲載



## イ 調査結果及び考察

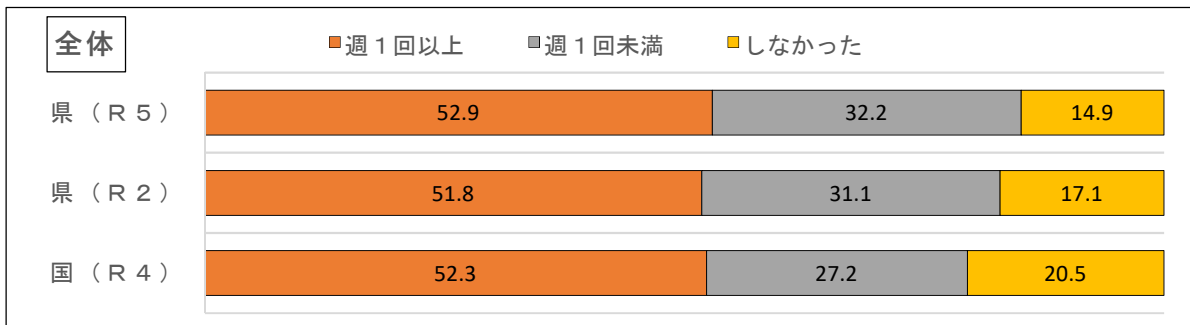
### 【週1回以上のスポーツ実施率の目標値】

- ・ 70%（県：第2期マイライフ・マイスポーツ運動 令和5～14年）

### 〈するスポーツ〉

問1 この1年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツを行いましたか。

#### (1) 本県前回調査及び全国調査（※1）との比較（全体）



### 【比較結果】

#### （前回調査との比較）

- 「週1回以上」の実施率は、1.1ポイント上昇した。
- スポーツを「しなかった人」の割合は、2.2ポイント減少した。

#### （全国調査（R4）との比較）

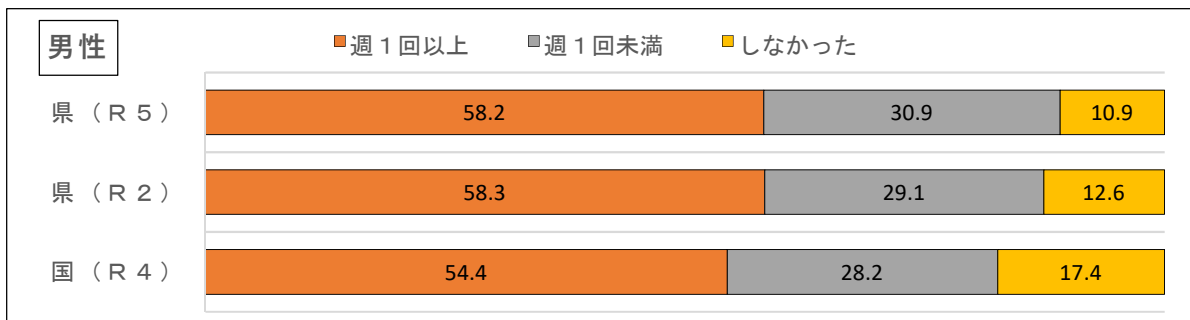
- 「週1回以上」の実施率は、0.6ポイント高かった。
- スポーツを「しなかった人」の割合は、5.6ポイント低かった。

### 【考察】

週1回以上の実施率を前回（県）、国の調査結果と比較すると、実施した人の割合は上回っており、スポーツをしなかった人の割合が減っている。「第2期マイライフ・マイスポーツ運動」において、スポーツの捉え方を明確にし、幅を広げたことも上回った要因の一つと考える。

しかし、週1回以上の実施率は国や県の目標値（70%）に達しておらず、「仕事が忙しい」「めんどくさい」等の理由でスポーツをしない層があることから、今後、さらに関係団体や他部局と連携し、「第2期マイライフ・マイスポーツ運動」の具体的な取組を推進していく必要がある。

#### (2) 本県前回調査及び全国調査との比較（男女別）



※1 全国調査・・・スポーツ庁が令和4年12月7日（水）～27日（火）に、18～79歳の男女（40,000件）にWEBアンケート調査で実施した「令和4年度『スポーツの実施状況等に関する世論調査』」

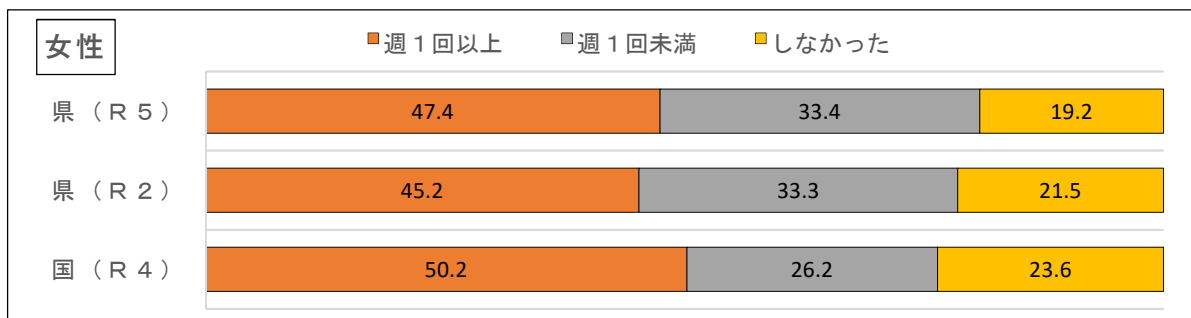
## 【比較結果】

### （前回調査との比較）

- △ 「週1回以上」の実施率は、0.1ポイント減少した。
- スポーツを「しなかった人」の割合は、1.7ポイント減少した。

### （全国調査（R4）との比較）

- 「週1回以上」の実施率は、3.8ポイント高かった。
- スポーツを「しなかった人」の割合は、6.5ポイント低かった。



## 【比較結果】

### （前回調査との比較）

- 「週1回以上」の実施率は、2.2ポイント上昇した。
- スポーツを「しなかった人」の割合は、2.3ポイント減少した。

### （全国調査（R4）との比較）

- △ 「週1回以上」の実施率は、3.8ポイント低かった。
- スポーツを「しなかった人」の割合は、6.5ポイント低かった。

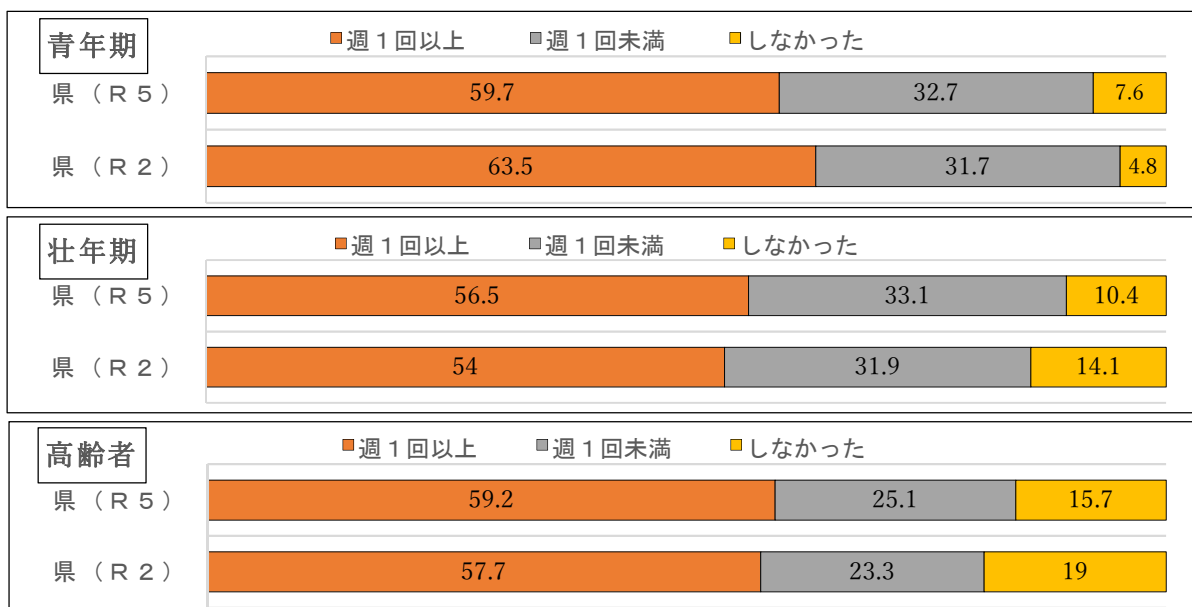
## 【考察】

男女ともにスポーツをしなかった人の割合が減ってきている。スポーツの実施に対する意識は高まりつつあると考えられる。

女性の「週1回以上」の実施率は、県の調査の割合より上昇しているが、国の割合より低い状況にあり、女性がスポーツに取り組める環境を市町村行政や総合型地域スポーツクラブ等と連携して作っていく必要がある。

## （3）本県前回調査との比較（世代別）

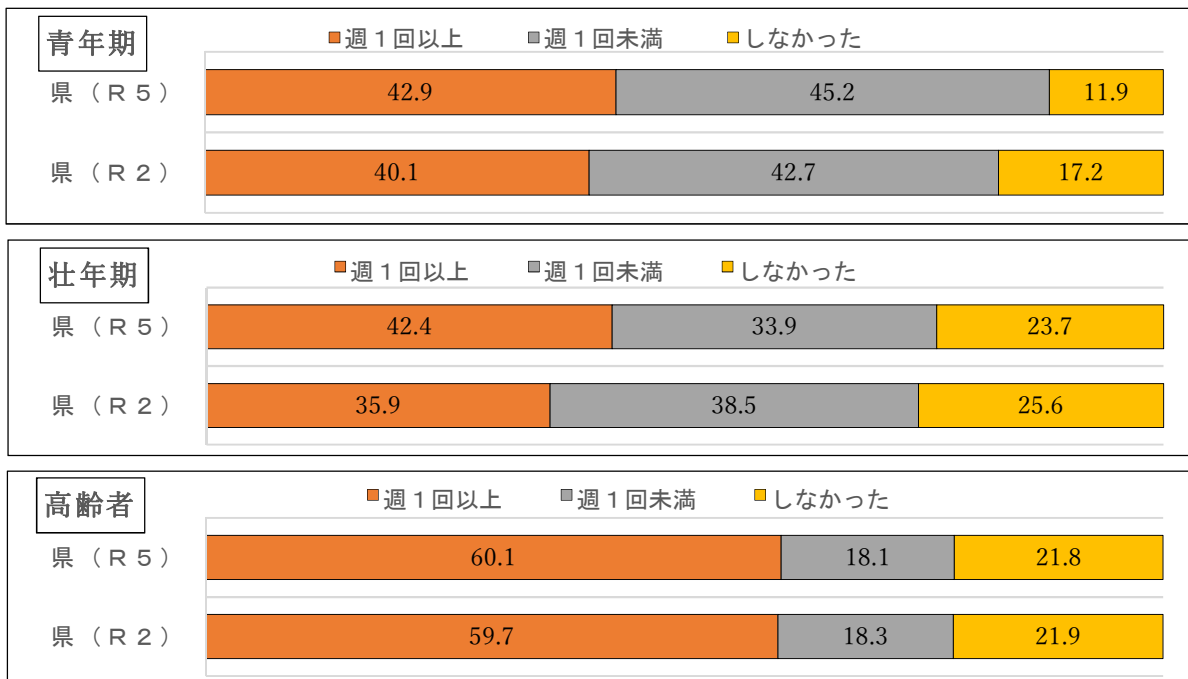
### ア 男性



【比較結果】

- △ 青年期において、「週1回以上」の実施率は、減少した。
- △ 青年期において、「しなかった人」の割合は、上昇した。
- 壮年期及び高齢者において、「週1回以上」の実施率は、上昇した。
- 壮年期及び高齢者において、「しなかった人」の割合は、減少した。

イ 女性



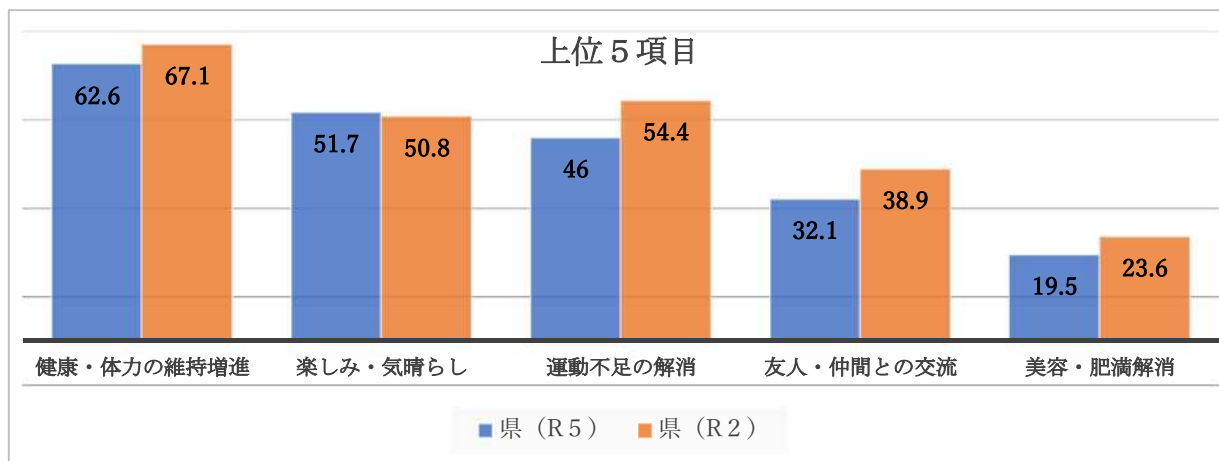
【比較結果】

- すべての世代において、「週1回以上」のスポーツ実施率は上昇した。
- すべての世代において、スポーツを「しなかった人」の割合は減少した。

【考察】

男性青年期以外の世代は、「週1回以上」のスポーツ実施率は上昇し、スポーツをしなかった人の割合が減ってきている。ほとんどの世代でスポーツの実施に対する意識は高まりつつあると考えられる。しかし、男性青年期は、前回の調査より落ち込みが見られる。その要因を探り改善を図る必要がある。

問2 あなたが運動やスポーツを行う理由をお答えください。  
(問1で「しなかった」以外を回答した者。複数回答)



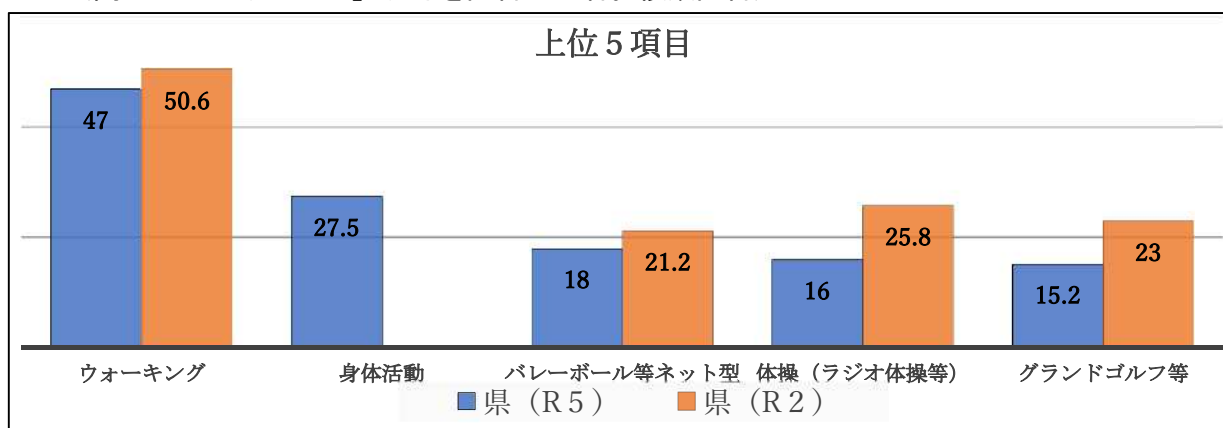
**【比較結果】**

- ・ 上位5項目は前回と同様であった。
- ・ 「楽しみ・気晴らし」が増加した。
- ・ 「健康・体力の維持増進」、「運動不足の解消」、「友人・仲間との交流」などは減少した。

**【考察】**

上位5項目は前回と変わりは見られない。その中で「楽しみ・気晴らし」だけが増加している。体の健康だけでなく、心の健康の重要性が増してきていると考えられる。

問3 この1年間に行った運動やスポーツをお答えください。  
(問1で「しなかった」以外を回答した者。複数回答)



**【比較結果】**

- ・ 前回の上位になかった「身体活動」(※2)の項目が新たに選択された。
- ・ 4項目とも減少し、順位の入替えも見られた。

**【考察】**

上位にあった4項目がそれぞれ減少した理由は、身体活動を選択したことによるものと考えられる。また、順位の入替えは、友人・仲間とスポーツを行うことができるようになったことで、それに関連している種目が増加したと考えられる。

問4 この1年間に、運動やスポーツをできなかった理由をお答えください。  
(問1で「しなかった」と回答した者。複数回答) ◇ 上位5項目

	R 5		R 2	
	理由	割合	理由	割合
1	仕事(家事等)が忙しい	60.1%	仕事(家事等)が忙しい	50.6%
2	面倒くさい	29.9%	理由はない	25.8%
3	年を取った	27.3%	年を取った	23.0%
4	子供に手がかかる	17.5%	疲れる・面倒くさい	21.1%
5	病気やけがをしている	17.2%	スポーツが嫌い	19.6%

※2 身体活動・・・「第2期マイライフ・マイスポーツ運動」でスポーツを以下のように捉えている。

- ①余暇時間等における健康・体力の保持増進を目的とした身体活動(ウォーキング、体操等)
- ②気晴らし、楽しみ及び交流を目的とした身体活動(散歩、サイクリング、レクリエーション等)
- ③仕事や家事の最中の健康・体力の保持増進、美容などを目的に意識的に実施する身体活動

### 【比較結果】

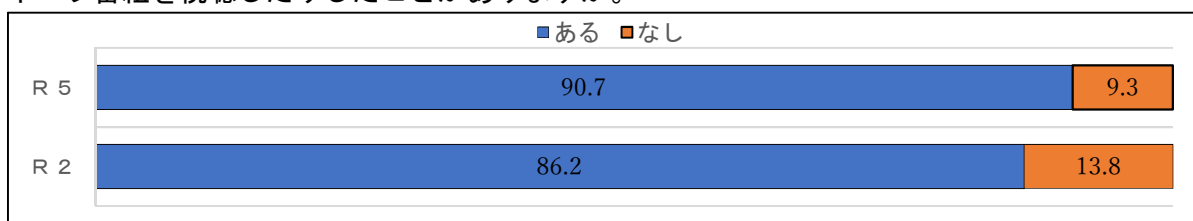
- ・ 「仕事（家事等）が忙しい」が9.5ポイント、「面倒くさい」が8.8ポイント、「年を取った」が4.3ポイント増加した。
- ・ 「理由はない」「スポーツが嫌い」の理由が上位からなくなり、「子供に手がかかる」「病気やけがをしている」が多く選択された。

### 【考察】

前回及び今回の調査でも「仕事（家事等）が忙しい」の項目が半数以上ある。仕事（家事）をする中でもできる身体活動があることを意識してもらうために、「第2期マイライフ・マイスポーツ運動」のスポーツのとらえ方をいろいろな場面で周知する必要がある。

### 〈みるスポーツ〉

問5 この1年間にスポーツを競技場などで観戦したり、テレビやラジオ、インターネットでスポーツ番組を視聴したりしたことがありますか。



### 【比較結果】

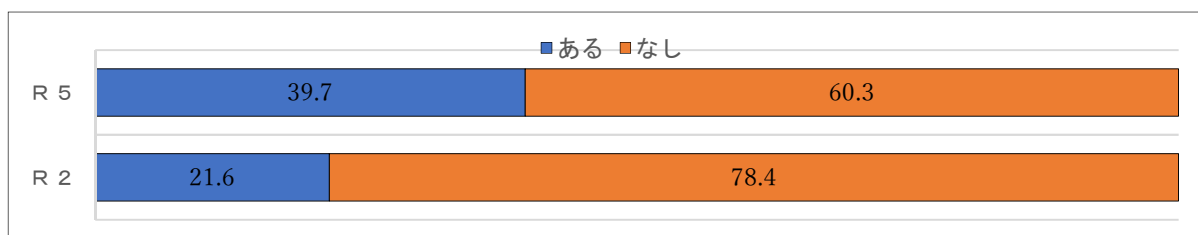
- 前回調査より、スポーツを観戦したり視聴したりしたことがある者が4.5ポイント増加した。

### 【考察】

スポーツを観戦したり視聴したりした者の割合が前回調査と同様に高い傾向にある。かごしま国体、かごしま大会をはじめとするスポーツソースの増加や鹿児島を拠点とするプロスポーツチームの活躍など、県民がスポーツに触れる機会が増えたことが要因として考えられる。

### 〈ささえるスポーツ〉

問6 この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営など運動・スポーツに関するボランティア活動を行ったことがありますか。



### 【比較結果】

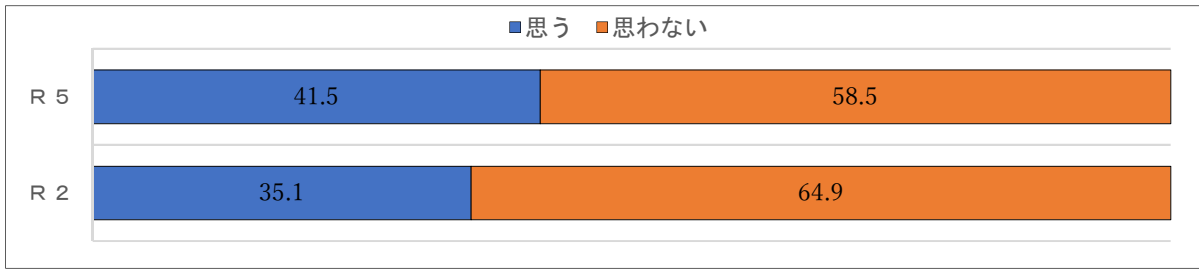
- 前回調査より、ボランティア活動を行った者の割合が17.1ポイント増加した。

### 【考察】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の緩和により、かごしま国体を含め多くの大会が開催され、スポーツイベント等に係わる機会が増えたことが増加の要因として考えられる。



問7 機会があれば、運動やスポーツの指導者やスポーツボランティアとして活動してみたいと思いますか。



【比較結果】

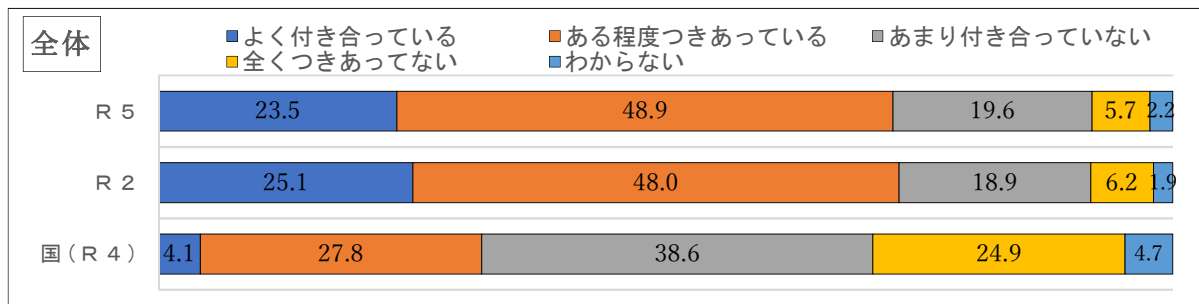
○ 前回調査より、「ボランティア活動をしてみたい」と回答した人の割合が6.4ポイント増加した。

【考察】

問6の考察と同様に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の緩和により、かごしま国体を含め多くの大会が開催され、大会の観戦等を通して、スポーツのよさを感じたことが増加の要因として考えられる。

問8 地域との付き合いをどの程度していますか。

(1) 全体

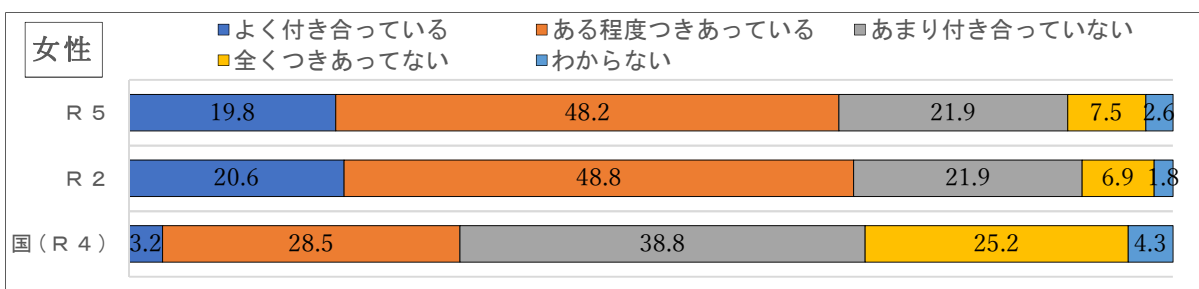
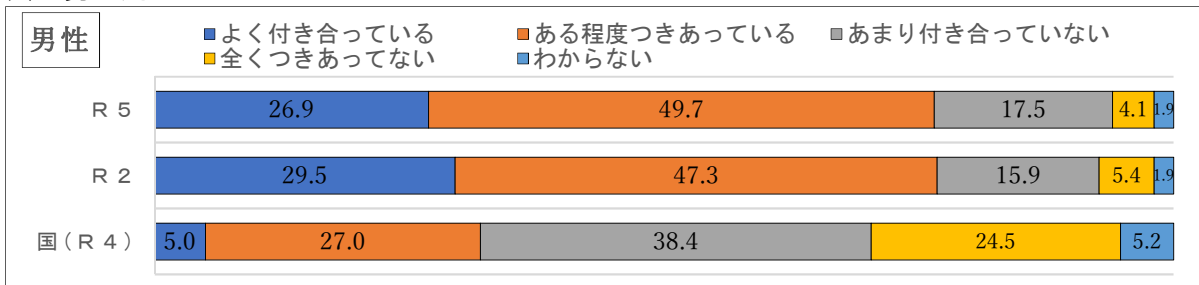


【比較結果】

△ 「よく付き合っている」「ある程度つきあっている」を合わせた割合(72.4%)は、前回調査(73.1%)より0.7ポイント減少した。

○ 「よく付き合っている」「ある程度つきあっている」を合わせた割合は、国の調査(31.9%)より40.5ポイント高かった。

(2) 男女別



### 【比較結果】

△ 男女とも、「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」を合わせた割合（男性 76.6%，女性 68.0%）は，前回調査（男性 76.8%，女性 69.4%）より減少（男性 0.2 ポイント，女性 1.4 ポイント）した。

○ 男女とも、「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」を合わせた割合は，国の調査（男性 32.0%，女性 31.7%）より高かった。（男性 44.6 ポイント，女性 36.3 ポイント）。

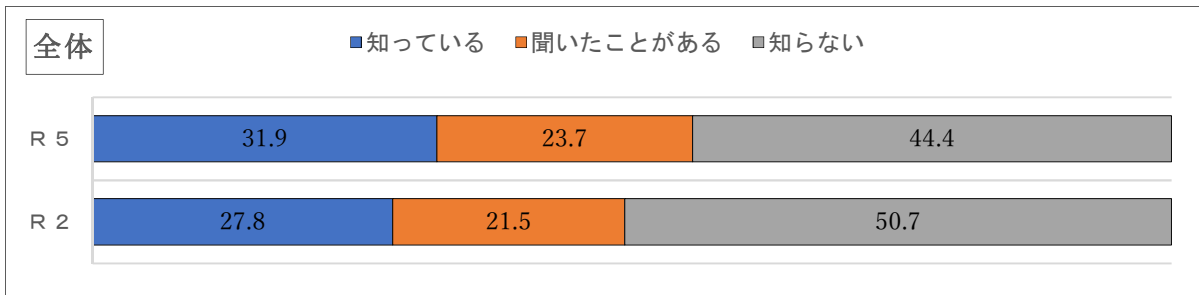
### 【考察】

前回調査よりも若干の減少は見られるが，ほぼ同じ割合であり，多くの方が地域との付き合いを大切にしていることがわかる。自治体（地域）や総合型地域スポーツクラブが主体となったスポーツ活動を推進することにより，さらにスポーツ実施率の向上が期待できるのではないかと考えられる。

### 〈総合型地域スポーツクラブ〉

問9 総合型地域スポーツクラブ（以下：総合型クラブ）について知っていますか。

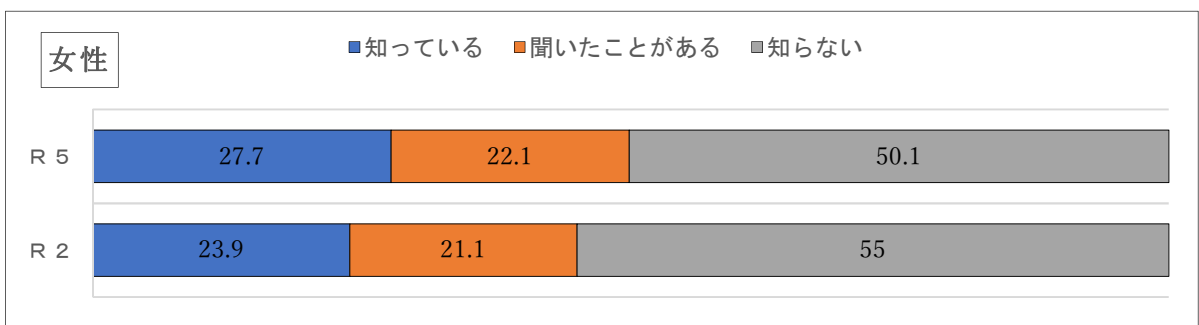
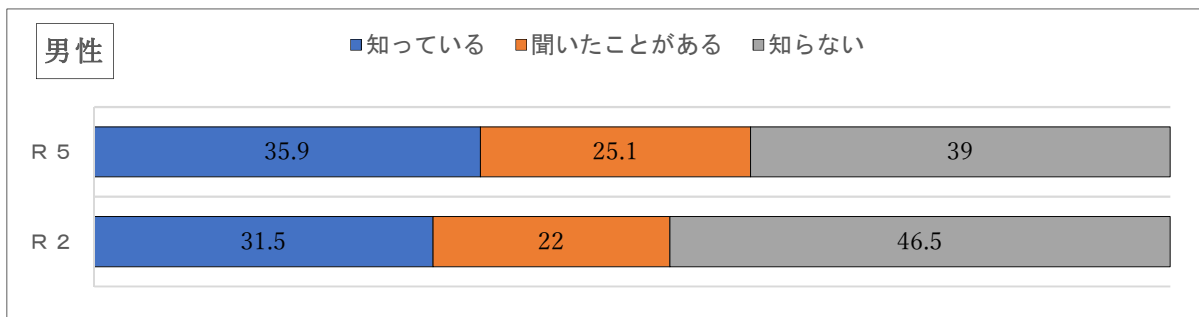
#### (1) 全体



### 【比較結果】

○ 総合型クラブの認知度（「知っている」「聞いたことがある」を合わせた割合）は，前回調査と比較して 6.3 ポイント上昇した。

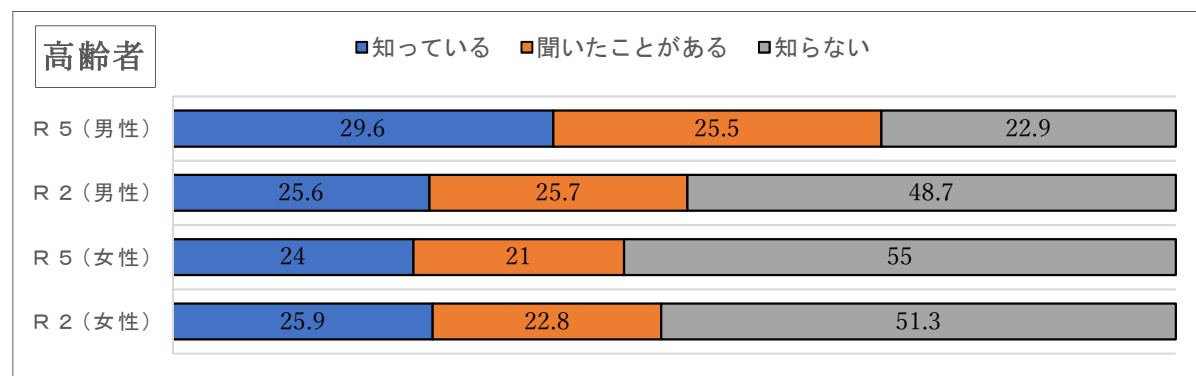
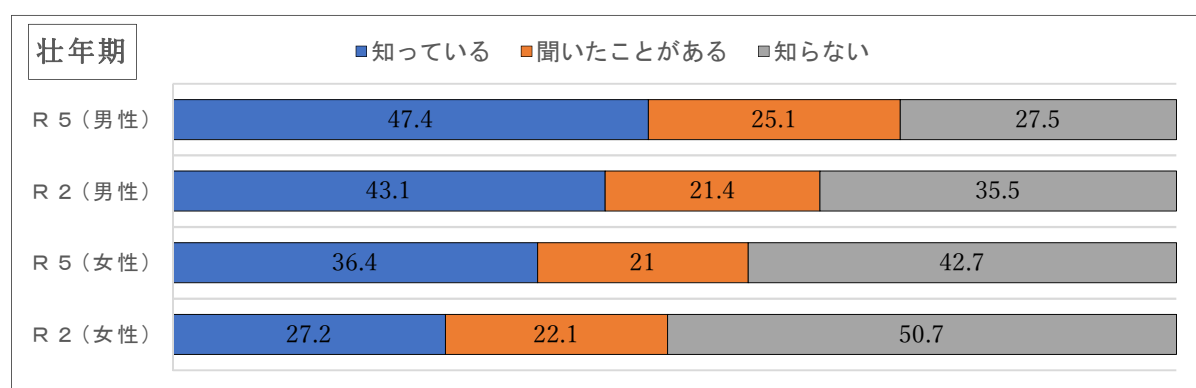
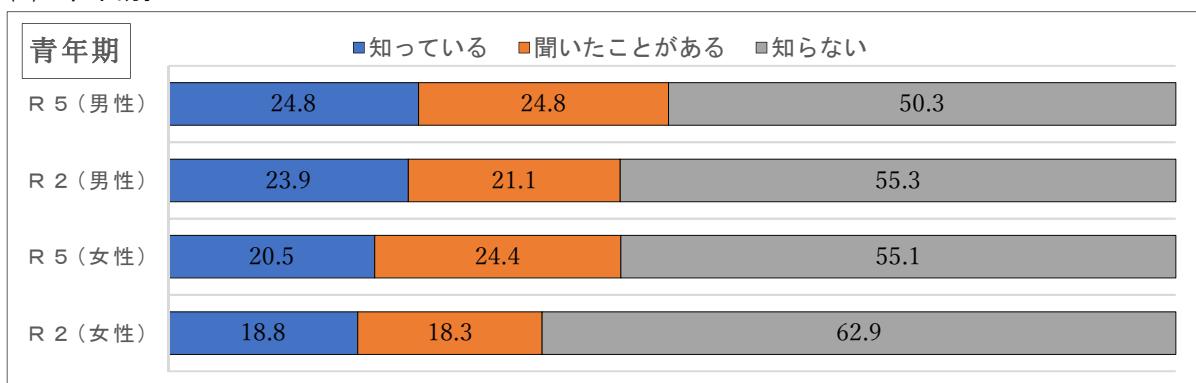
#### (2) 男女別



### 【比較結果】

- 男女別の認知度（「知っている」「聞いたことがある」を合わせた割合）は、男女とも前回調査と比較して上昇（男性：7.5ポイント、女性：4.8ポイント）した。

### (3) 世代別



### 【比較結果】

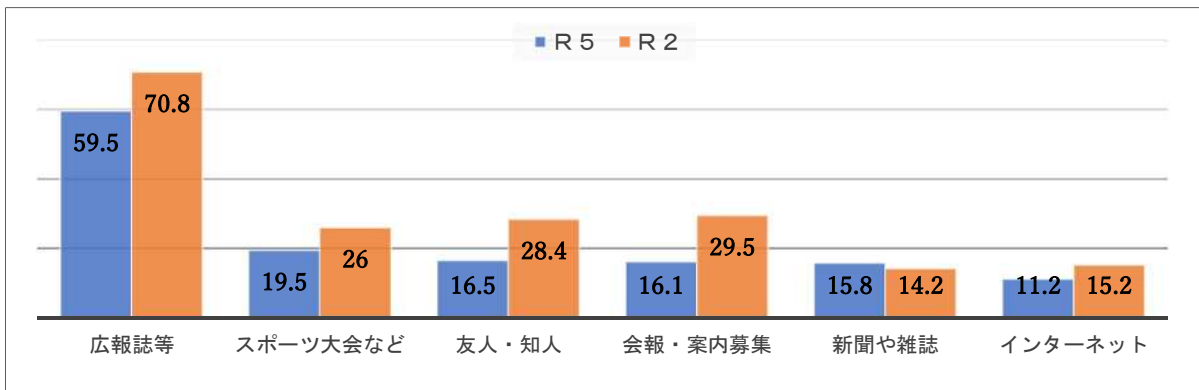
- 世代別の認知度は、高齢者の女性以外の世代において、前回調査と比較して上昇（青年期男性：5.0ポイント、青年期女性：7.8ポイント、壮年期男性：8.0ポイント、壮年期女性：8.1ポイント、高齢期男性：4.0ポイント）した。
- △ 青年期の認知度は、他の世代と比較して低かった。

### 【考察】

「全体」「男女別」「世代別」（高齢者女性除く）の全て項目において前回調査より上昇しており、各総合型クラブや各自治体の広報活動、部活動地域移行との関連等で、周知が広がりつつあると考えられる。スポーツに親しむ機会の拡充や地域スポーツの構築ために、総合型スポーツクラブや自治体と連携を図り、継続した広報活動を進め、認知度を高めていく必要がある。

問10 総合型地域クラブについて何で知りましたか。

(問9で「知っている」「聞いたことがある」と回答した者：複数回答)



【比較結果】

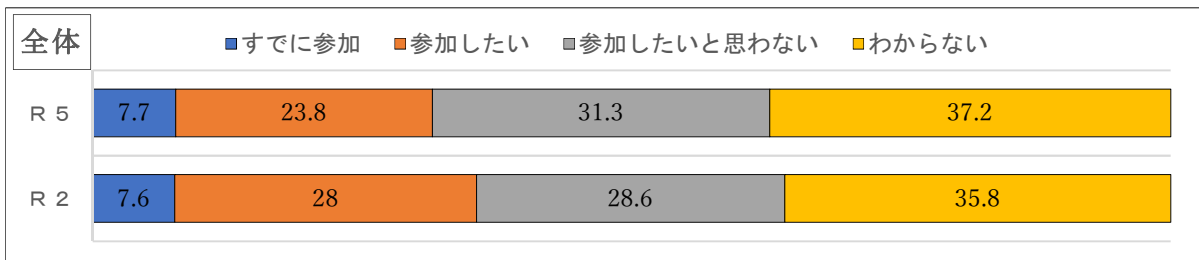
- ・ 「新聞や雑誌」が前回調査より上回ったが、それ以外の項目は下まわった。

【考察】

最も多かった認知手段が「広報誌等」であることと、前回調査より多かった認知手段が「新聞や雑誌等」であることから、紙媒体による広報が有効であると考えられる。また、現代のSNSの利用状況からSNSを活用した広報の方法も効果的であると考えられる。

問11 総合型地域スポーツクラブの活動に参加したいと思いますか。

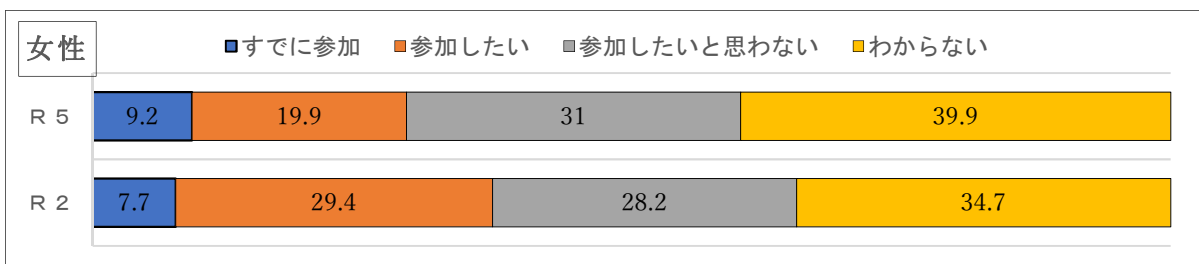
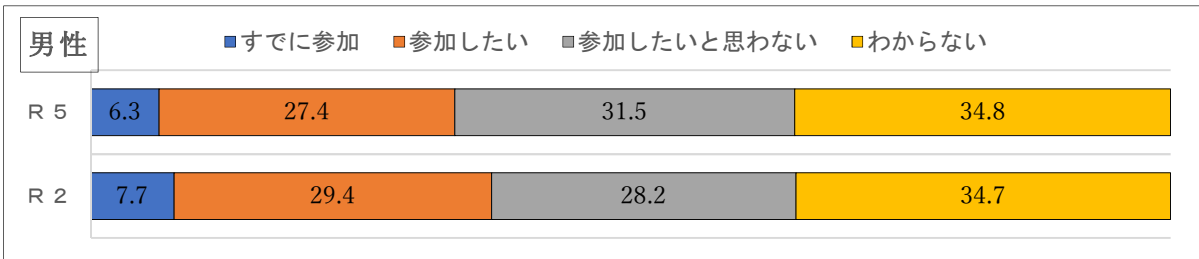
(1) 全体



【比較結果】

- △ 前回調査と比較して、「参加したい」の割合が4.2ポイント減少した。
- △ 前回調査と比較して、「参加したくない」の割合が2.7ポイント増加した。

(2) 男女別



**【比較結果】**

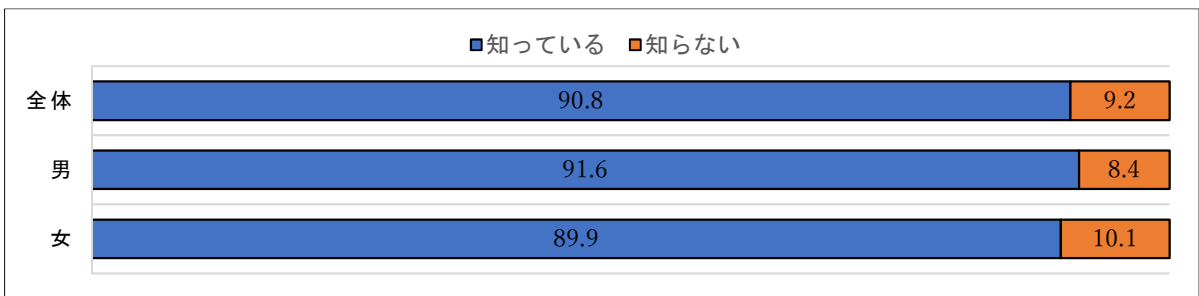
△ 男女とも「参加したい」と回答した割合が（男性：2.0ポイント、女性：9.5ポイント）減少し、「参加したくない」と回答した割合が（男性：3.3ポイント、女性：2.8ポイント）増加した。

**【考察】**

総合型地域スポーツクラブと市町村が連携して地域住民のスポーツニーズを的確に把握し、気軽に楽しく参加できるスポーツ・レクリエーション種目も含めたスポーツプログラムの開催など、ニーズに対応した取組を行うことで、参加意欲を高めることができるのではないかと考える。

〈パラスポーツ〉

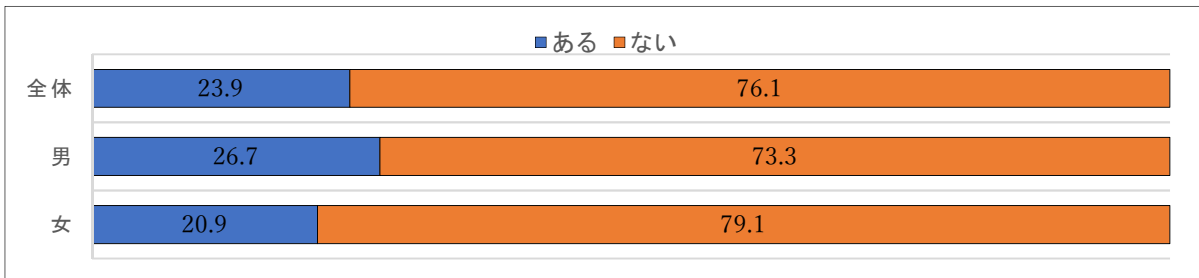
問12 あなたは、パラスポーツ（車いすテニスやボッチャ等の障害者スポーツ）を知っていますか。



**【考察】**

全体では、9割以上の者がパラスポーツを知っている。東京パラリンピックの開催等でパラスポーツに関することがメディアに取り上げられたり、身近でかごしま大会が開催されたりした影響があると考えられる。また、県主催のイベントやスポーツ推進委員等の研修会、教師を対象とした指導方法の研修等で障害者スポーツの体験していることが認知の高さの要因と考えられる。

問13 あなたは、これまで過去一度でもパラスポーツ（車いすテニスやボッチャ等の障害者スポーツ）を体験したことがありますか。



**【考察】**

パラスポーツについての認知は高いが、実際に経験した者は、少ない。イベントや研修会等での体験は実施しているが、対象者が限定されていることやパラスポーツを行える環境（施設や用具、機会等）を知らないこと等が要因にあると考えられる。今後、自治体や関係団体と連携して、パラスポーツの体験イベント等の充実や障害者スポーツの用具の貸出しなどの周知を図り、パラスポーツに触れる機会を増やす必要がある。

## イ スポーツ情報交換会の充実

<b>目的</b>	体育・スポーツ及びレクリエーションに携わる関係機関・団体と報道機関の関係者が一堂に会し、体育・スポーツ及びレクリエーションに関する情報交換を行い、相互の連携を深め、広く県民によりよい情報を提供することで、本県の体育・スポーツ及びレクリエーションの振興と充実を図る。		
<b>期日・会場</b>	○ 令和5年4月21日（金） 白波スタジアム第1会議室	<b>参加者数</b>	29人
<b>対象</b>	○ 報道機関（15社） MBC南日本放送 KTS鹿児島テレビ NHK鹿児島放送局 KKB鹿児島放送 KYT鹿児島読売テレビ エフエム鹿児島 南日本新聞社 共同通信社鹿児島支局 毎日新聞社鹿児島支局 読売新聞西部本社鹿児島支局 朝日新聞社鹿児島総局 西日本新聞社鹿児島総局 時事通信社鹿児島支局 南海日日新聞社鹿児島総局 日本経済新聞社鹿児島支局 ○ 関係機関（17団体） 県文化スポーツ局スポーツ振興課 県障害福祉課 県教育庁保健体育課 県国体・全国障害者スポーツ大会局（総務企画課、全国障害者スポーツ大会課、競技式典課、競技力向上対策課） 公益財団法人県スポーツ協会 鹿児島市観光交流局観光交流部スポーツ課 公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会 県小学校体育連盟 県中学校体育連盟 県高等学校体育連盟 県専門学校体育連盟 県高等学校野球連盟 県レクリエーション協会 セイカ・ユナイテッドグループ 社会福祉法人県身体障害者福祉協会 県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 県総合体育センター		
<b>成果</b>	「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」をはじめとする、令和5年度に本県で開催される大きなスポーツイベントについての情報交換をより充実させ、県全体の開催気運の醸成を図ることができた。		
<b>令和6年度の予定</b>	○ 令和6年4月18日（木） 白波スタジアム第1会議室		

## 《 内容 》

### 1 情報交換会の様子

報道機関に対して、上記の関係機関17団体が展開する事業における、体育・スポーツ及びレクリエーションに関する情報提供を行いました。それぞれの事業についての情報をより多くの県民の皆様にご覧いただくためにPRしました。



【開会行事】



【関係機関・団体からの事業紹介】



【報道機関からの各社PR】

ウ 刊行物の作成・発行

<p>(ア) 総合体育センターだより</p> 	<p><b>目 的</b></p>	<p>令和6年度に開催予定の事業の内容や日程等の情報を提供することにより、総合体育センター事業に対する県民の関心を高め、生涯スポーツの普及・促進の一助とする。</p>
	<p><b>送付先等</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年3月</li> <li>○ 発行部数：1,200部</li> <li>○ 関係機関，総合型地域スポーツクラブ，関係競技団体ほか</li> </ul>
	<p><b>内 容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校体育の充実</li> <li>○ スポーツ・レクリエーション活動の充実，ニュースポーツ等道具の貸出し</li> <li>○ 総合型地域スポーツクラブの充実</li> <li>○ 情報・指導資料等の提供，相談体制及び調査研究の充実</li> </ul>
<p>(イ) 県民総スポーツすすむ</p> 	<p><b>目 的</b></p>	<p>総合体育センターが実施したスポーツ・レクリエーション活動の支援や学校体育の充実に係る情報を提供することによって、県民の体育・スポーツ及びレクリエーション活動の振興に寄与する。</p>
	<p><b>送付先等</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年3月</li> <li>○ 関係機関，総合型地域スポーツクラブ，関係競技団体ほか</li> </ul>
	<p><b>内 容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本年度の事業の内容や成果，課題等</li> <li>○ 次年度の事業計画等</li> </ul>
<p>(ウ) 県公立武道館協議会会報</p> 	<p><b>目 的</b></p>	<p>(公財) 日本武道館との共催事業等の情報提供をすることにより、本県武道の普及振興を図るとともに各市町村教育委員会及び関係市生涯スポーツ担当課と各武道団体との連携促進の一助とする。</p>
	<p><b>送付先等</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年3月</li> <li>○ 発行部数：500部</li> <li>○ 県内各武道競技団体，関係市及び各市町村教育委員会，各スポーツ少年団(武道)，公益財団法人県スポーツ協会，関係市町村武道競技団体，県教育庁各課ほか</li> </ul>
	<p><b>内 容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会長あいさつ</li> <li>○ 令和5年度事業報告</li> <li>○ 関連事業報告</li> <li>○ 令和6年度事業計画</li> </ul>

(イ) ホームページ・フェイスブックによる情報提供

<b>内 容</b>	<p><b>1 ホームページ</b></p> <p>(1) お知らせ 年間事業計画等</p> <p>(2) 事業紹介 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の紹介</p> <p>(3) 事業結果 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の結果紹介（事業の様子、参加者の感想など）</p> <p>(4) 施設利用 県有体育施設の利用について</p> <p>(5) 資料等（発行物・調査結果） 県民総スポーツすすむ，総合体育センターだより等</p> <p>(6) 広域スポーツセンター：「総合型地域スポーツクラブ」について 総合型地域スポーツクラブについて，広域スポーツセンター通信等</p> <p>(7) スポーツ・レクリエーション用具貸出 スポーツ・レクリエーション用具の貸出しの案内，貸出用具一覧等</p> <p>(8) クラブ診断シート 総合型地域スポーツクラブの円滑なクラブ運営に向けた診断シート</p>
	<p><b>2 フェイスブック</b></p> <p>(1) 事業紹介 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の紹介</p> <p>(2) 事業結果 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の結果紹介（事業の様子の写真や動画など）</p> <p>(3) 体づくり運動や研修会等の動画 ソーシャル・ディスタンスを保ちながら行える体づくり運動の動画や，研修会等の実技動画</p>
	<p><b>ホームページURL</b></p> <p><a href="http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html">www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html</a></p>
<p><b>フェイスブックURL</b></p> <p><a href="https://www.facebook.com/sotaise.kagoshima">https://www.facebook.com/sotaise.kagoshima</a></p>	

(オ) 県民のニーズや相談に応じた情報提供

<b>目 的</b>	県民のスポーツ・レクリエーション活動等に関する幅広い分野からの質問・相談に対して，専門的立場から回答することにより，県民の生涯スポーツ活動を支援する。
<b>期 日 等</b>	通年随時
<b>対 象</b>	県民
<b>成 果</b>	スポーツ・レクリエーション活動に関する施設や競技団体，指導者，イベントなどの情報を収集・整理することにより，随時県民の要望に応じた情報を提供することができた。
<b>令和6年度の予定</b>	各市町村，（公財）県スポーツ協会，競技団体，総合型地域スポーツクラブなどと連携を深め，更なる情報収集・提供に努める。

《 内 容 》

電話等による相談，問合せの主な内容
<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 県総合体育センター各種事業等に関する事</li> <li><input type="radio"/> 指導者の養成や派遣に関する事</li> <li><input type="radio"/> 各種指導者資格に関する事</li> <li><input type="radio"/> スポーツ・レクリエーション用具の貸出しに関する事</li> <li><input type="radio"/> 行事・催物・各種大会に関する事</li> <li><input type="radio"/> 記録や表彰に関する事</li> <li><input type="radio"/> スポーツの団体やグループに関する事</li> <li><input type="radio"/> その他</li> </ul>